

令和5年度 学校教育自己診断（考察）

【回収率】

教職員：100% 保護者：76%（前年比2ポイント減）

【各設問項目】

1. 保護者

全33項目の設問に対し31項目（昨年より1減）についての肯定的評価90%以上の回答をいただいています。昨年度課題としてあげた学校HPでの情報発信「22 学校ホームページ」については昨年度と比較して7ポイント上昇しています。ブログの更新なども定期的に行われていることから閲覧いただいた結果と考えています。しかし、他の項目との比較では評価が伸びておらず、保護者の求める情報が発信しきれていない現状もあると考えられます。引き続き学校HPやその他ICTによる情報共有の充実に努めてまいります。全体として、過去2年分の評価も合わせて高い肯定的評価をいただいております。本校の教育について、これまでの取り組みをご理解いただいているものと考えています。今後も更なる教育内容の充実に向けて取り組んでまいります。

記述回答については、学校設備の老朽化へのご指摘を複数いただいています。児童生徒の安全面、衛生面に関わるものについては可能な限り優先的に予算化し改善できるよう図ってまいります。

2. 教職員

肯定率90%以上の評価項目は全32項目中21項目で、前年度と同数の結果となっています。各項目の中で肯定的評価が大きく上昇したのものとして「5 働き方改革（R4：業務の効率化）」があり、ICT活用やその他、業務内容の見直しによる効率化が実感された結果と考えています。また新設の設問「14 自立活動の指導」についても肯定的評価が高く、事例検討や校内研修の成果が反映されているものと考えています。しかし一方で「4 校内人事」についての項目は昨年に続き肯定的評価が低く60%台に留まっています。その他10ポイント以上評価が下がった項目として「21 命の大切さ、社会のルールについての指導」「24 いじめ事案に対する体制」があげられます。校内人事、校務運営の体制については適材適所をめざし、業務偏重も考慮しながら体制づくりを進めたいと考えています。くわえて、日々の教育活動において児童生徒が安心安全に学習活動に取り組めるよう、また教員自身も意識し実践できるよう学校として環境設定に努めたいと考えています。

記述回答については、分掌や教員個人への業務の偏りへの指摘が最も多く、それに関連して学部や各分掌への人員の配置についてなど校内人事への課題が指摘されています。これらの指摘に対して各学部、各分掌間での課題共有とともに組織的な改善のサイクルが確立するよう校内体制を工夫し改善に努めてまいります。

ご意見欄（要約）

【保護者】

- ・校舎、設備の老朽化への対応について
- ・参観機会（配信など含め）の充実について
- ・PTA 活動の任意性や活動時の配慮について

など

【教職員】

- ・学年、分掌等の人員配置につて
- ・各分掌、各教員あたりの業務偏重の改善について
- ・設備の改修など環境面について
- ・行事や業務などの実施時期や日程の調整について

など